

# 日商簿記 1 級過去問ゼミダウンロード講座

## 【第 128 回：商業簿記・会計学】

収録日：平成 25 年 11 月 12 日

### 【総評】

商業簿記は商品関連以外は比較的対応しやすい問題で、商品関連も BOX 書いてみると案外対応しやすい問題でした。ただ、本試験特有のプレッシャーの中では、商品関連はできなくても仕方ありません。18 点くらいで良しとしましょう。

会計学は、第 2 問は難しそう（というか難しい内容）ですが、償却原価法の考え方が理解できていれば比較的満点になりやすい問題でした。

問 3 は、在外子会社の理屈がわかっていなくても、設問 1・3・4 は何とか対応できたかもしれません。

問 1 で 4 点、問 2 で 10 点、問 3 で 4~6 点というところでしょうか。

商会で 35 点をしっかり確保する作戦が効果的です。

90 分の使い方

5 分：全体を見渡して、どこから解くかを考える

会計学はできないところを深入りせず 30 分で対応しましょう。

商業簿記は 60 分近く時間をかければ 20 点くらいになる可能性があります。

では、解説をすすめます。

まずは会計学から説明します。

応用論点として、在外支店も説明します。

<在外支店>

B / S (単位 \$)

流動資産	12,400	流動負債	5,640
固定資産	7,600	本店	14,360

※本店における支店 a/c は 1,436,000 円  
本店における支店からの仕入 a/c は 1,000,000 円

P / L (単位 \$)

売原	28,000	売上	30,000
減価償却費	800	本店へ売上	10,000
諸経費	7,000		
利益	4,200		

為替レート

固定資産取得時	90 円
決算時レート	105 円
期中平均レート	98 円

売上原価は期中平均レートで計算する